

**令和6年度進行管理・評価シート**  
**湯前町 歴史的風致維持向上計画（平成29年3月17日認定）**  
**（最終変更 平成31年3月5日）**

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 事業推進のための体制整備等	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画と景観計画	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的建造物の維持保全に関する事業	.....	3
2 伝統を反映した人々の活動に関する事業	.....	7
3 まちなみと景観形成に関する事業	.....	8
4 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業	.....	10
5 歴史的風致の維持向上に関する調査・計画策定事業	.....	16
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財保護委員会の開催状況等文化財保護行政の取組状況		17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 報道の状況	.....	18
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 その他(効果等)	.....	19

<b>□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)</b>	.....	湯前町-1
--------------------------------	-------	-------

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
<input type="radio"/> 事業推進のための体制整備 <input type="radio"/> 歴史的風致維持向上協議会の開催 <input type="radio"/> 関係団体等との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<input type="radio"/> まちづくり関連課と文化財関連課が担当し、各事業担当課と庁内の横断的な連携を図りつつ本計画の総合的かつ効果的な進行を図っていく。 <input type="radio"/> 湯前町歴史的風致維持向上協議会は計画の円滑な実施に係る連絡調整や計画変更の協議を行うとともに、湯前町文化財保護委員会等とも協議を行い計画を推進していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<input type="radio"/> 関係各課及び町政推進プロジェクトチーム(歴史まちづくり)での協議と併せ、計画内容の進行状況確認や関連事業の協議・調整を随時行った。 <input type="radio"/> 湯前町歴史的風致維持向上協議会において、計画内容の進行状況確認、街なみ環境整備事業計画等の個別事業の検討を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、庁内関係課の連携体制を確立し協議会等との連携を推進する。		
状況を示す写真や資料等			
<p>■ 歴史まちづくりの実施体制</p> <pre>                     graph TD                         subgraph TownOffice [湯前町 (湯前町教育委員会)]                             subgraph Bureau [事務局]                                 PT[湯前町町政推進PT (歴史まちづくり)]                             end                             subgraph InternalDepartments [庁内関係課]                                 ED[企画観光課・教育課]                                 AFD[農林振興課・建設水道課]                             end                         end                          subgraph ExternalOrgs [連携]                             CPHC[湯前町文化財保護委員会]                             HTHUA[湯前町歴史的風致維持向上協議会]                             TVSC[湯前町人口ビジョン総合戦略策定委員会 ※]                         end                          TownOffice -- 報告 --&gt; CPHC                         CPHC -- 意見 --&gt; TownOffice                         TownOffice -- 報告 --&gt; HTHUA                         HTHUA -- 協議 --&gt; TownOffice                         TownOffice -- 協議 --&gt; TVSC                         TVSC -- 意見 --&gt; TownOffice                 </pre>			
<p>■ 湯前町歴史的風致維持向上協議会の開催(令和6年度分)                      【9/20～10/4 通常総会書面決議】</p>			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
<input type="radio"/> 都市計画 <input type="radio"/> 景観計画	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容 ○ 本町は都市計画区域を指定しておらず、今後は住民等へのまちづくりへの普及・啓発を図りながら、地域の実情に応じた土地利用の規制導入に関する検討を行い歴史・文化を活かしたまちづくりの推進を図っていく。 ○ 本町は全域が熊本県景観計画区域に含まれ規制区域となっており、重点区域内では、国道219号の沿線が特定施設届出地区となっている。また、国道219号及び388号の沿線が、熊本県屋外広告物条例の第3種禁止区域となっている。本計画期間内に景観行政団体への移行と景観計画の策定に向けた検討を行っていくこととし、屋外広告物に係る条例等も併せて検討を進めていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<input type="radio"/> 景観行政団体への移行 ……移行予定 <input type="radio"/> 景観計画の策定 ……策定予定 <input type="radio"/> 屋外広告物に係る条例等の制定 ……制定予定		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和元年度の庁内課長会議において、令和8年度までの景観行政団体移行及び景観計画策定の方針決定をしている。熊本県と実務者協議を行い、広域での景観基本方針策定を県で実施し、域内町村で景観行政推進に取り組むこととしている。	

状況を示す写真や資料等

令和2年7月豪雨により町内各所で山腹崩壊や土砂流出等の災害が発生したが、応急措置により道路交通は復旧している。歴史的風致形成建造物に大きな被害はなかったが、重点区域内に位置するくまがわ鉄道は、沿線の災害により未だ一部区間不通となっている。

令和5年度、重点区域の復旧が完了した。



重点区域と規制区域図



重点区域内の災害状況(河川)



災害復旧状況(河川)



重点区域内の災害状況(道路)



災害復旧状況(道路)

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
(1) 歴史的建造物の維持保全に関する事業 ① 明導寺阿弥陀堂屋根及び九重石塔修繕事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成29年度～令和8年度			
支援事業名 町単独事業			
計画に記載している内容	明導寺阿弥陀堂は平成21年度に茅葺き屋根の修繕を行ったが、近年の気象変動や茅素材そのものの性質変化、樹木等の周辺環境の影響で、部分劣化が著しく進行していることから、修繕を行う。また、熊本地震で損壊した九重石塔も修繕と耐震対策の検討を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○ 明導寺阿弥陀堂の適切な保存・・・茅葺き屋根の修繕及び周辺樹木の管理について庁内及び文化財保護委員会、法定協議会で検討を行った。屋根に生えていたヤドリギや幼木を除去した。 ○ 明導寺(城泉寺)七重石塔の適切な保全・・・令和元年度に九重石塔と共に3D計測を行いデジタルアーカイブ化。 ○ 明導寺(城泉寺)九重石塔の適切な保全・・・令和元年度に平成28年熊本地震で損傷した石塔の修繕を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	明導寺阿弥陀堂の屋根修理と九重石塔耐震対策に向けた基本設計業務委託契約を締結し、7年度に繰り越し実施することとなった。7年度中に、国庫補助の要望を行う予定。		
状況を示す写真や資料等			
			
明導寺阿弥陀堂			
			
敷地内の九重石塔ほか			

評価軸③-2  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況
(1) 歴史的建造物の維持保全に関する事業 (2) 御大師堂修繕事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和6年度

支援事業名 町単独事業・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 御大師堂は県が指定する文化財であり茅葺き屋根の堂宇である。この茅葺き屋根は平成16年に地域住民の参画のもと修繕がなされているが、10年以上経過し全体的に劣化が進行しているため、歴史的風致形成建造物に指定し修繕を行う。また、隣接する休憩所の改築や公園施設など一体的な周辺整備に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 御大師堂の適切な保全 ○ 御大師堂の周辺整備  
令和元年度より街なみ環境整備事業を活用し、文化財建造物専門業者により大師堂保存修理工事に向けた基礎調査と設計業務を行った。併せて有識者を交えた保存修理協議を行い、全解体修復をする方針が決定した。また、地区対象に発掘調査と建物調査の現地説明を実施した。令和3年度より御大師堂保存修理工事に本体工事に着手し、令和5年9月竣工した。令和6年度は周辺の公園整備工事(第1期)と御大師堂休憩所新築工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
□計画どおり進捗していない  
歴史的風致形成建造物の保存修理事業においては、詳細な調査や多岐の検討を必要とし事業期間が計画時点より長期化していたが、令和5年度をもって建物本体の保存修理工事が完了した。令和7年度、引き続き公園整備工事(第2期)を行う。



下里御大師堂



新築落成した御大師堂休憩所



御大師公園整備工事風景

評価軸③-3  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況
(1) 歴史的建造物の維持保全に関する事業 ③ 湯前町歴史的風致形成建造物保全整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・社会資本整備総合交付金(道路事業)

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物の指定方針に基づき、指定を行った建造物において、歴史的風致の維持及び向上を図る上で必要と認められる改修等の支援を行う。また、住居等で耐震診断や耐震改修の必要な建造物は耐震対策も併せて支援を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 令和6年度末時点指定箇所数 2件(下里御大師堂・下町橋)  
 ○ 下町橋補修事業は社会資本整備総合交付金を活用し、令和2年度に補修設計を実施し、令和4年度、施工業者との契約を締結し、令和5年度に着工。令和6年7月、補修工事が完了し、落成式・渡り初めを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 現時点では、下里御大師堂と下町橋の2件を歴史的風致形成建造物に指定し、修理等を実施しているが、それ以外の指定が進んでいない。文化財の指定・未指定に関わらず、歴史的建造物の修理の要望等も出ているので、今後、新たな指定を進め、保全整備に取り組んでいきたい。



補修工事が完了した下町橋



下町橋補修工事落成式 渡り初め(R6.7.29)

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 令和6年度 現在の状況
(1) 歴史的建造物の維持保全に関する事業 ④ 幸野溝周辺環境整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間 平成30年度～令和8年度	
支援事業名 町単独事業	
計画に記載している内容	幸野溝は世界かんがい遺産の認定登録を受けており、今後とも適切な維持管理と地域用水の持つ多面的機能の維持増進、生活空間の質的向上等を図る必要がある。このことから、幸野溝の水路及び沿線道路の防草対策や植栽等を行うとともに、地域住民等一体となった維持・保全体制の構築を推進する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
○ 幸野溝施設の保全 幸野溝施設の維持管理を適切に行いながら、世界かんがい遺産の研修として計131名を受け入れた。幸野溝の主目的である利水事業のため、幸野溝土地改良区が主体となり、受益者(農家等)と共に、清掃、点検、修理等の適切な維持管理を行った。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	世界かんがい遺産の認定登録を契機として、幸野溝の活用協議会が設立され、幸野溝土地改良区を主体として研修受入に取り組んでいる。幸野溝疏水施設は適切に維持管理がなされている。
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>幸野溝(球磨川の旧取水堰)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>幸野溝土地改良区の活用活動等実績(R6)</p> <p>○ 研修受入 ・一般 7団体 155名</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>幸野溝</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>町内教職員研修での幸野溝旧隧道の見学</p> </div> </div>	

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
項目	評価対象年度 令和6年度 現在の状況	
(2) 伝統を反映した人々の活動に関する事業 ⑤ 無形民俗文化財保存継承事業 ⑥ 地域伝統芸能等保存活用事業 ⑦ 郷土学習総合推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	歴史的風致維持向上計画認定前～令和8年度	
支援事業名	町単独事業	
計画に記載している内容	⑤ 太鼓踊りや棒踊りなどの無形民俗文化財の保存活動に取り組んでいる保存会等の活動を支援することで、長い歴史の中で保存継承されてきた遺産を後世に伝えるとともに、町民の歴史や文化に対する理解を深め、郷土愛を育てていく。 ⑥ 存続活動が低下し滅失が危惧される、記録の少ない無形の民俗文化財等(祭り、伝説、神話、民話、伝統芸能、伝統技能、習俗等)を映像等に記録・保存し、地域の歴史文化の伝承と情報発信を推進する。 ⑦ 「歴史探訪講座」や小中学生の町内探検、民俗芸能学習授業など、生涯学習や総合学習等において、広く住民に郷土の歴史・文化・芸能等に関する学習機会を提供し、学校教育との連携も図りながら、住民の郷土に対する関心を深める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<input type="checkbox"/> 東方組太鼓踊り、浅鹿野棒踊り、球磨神楽の各保存会の継承活動に対する補助を行った。 <input type="checkbox"/> 東方組太鼓踊り・球磨神楽に使用する楽器・装束等の修理・新調に対する補助を行った。 <input type="checkbox"/> 湯前中学校において総合学習の一環として、東方組太鼓踊り、浅鹿野棒踊り、球磨神楽の伝統芸能継承活動を実施し、文化祭や里宮神社の秋季大祭で披露した。なお、この活動は20年目を迎え、古典の日文化基金賞未来賞を受賞した。 <input type="checkbox"/> 生涯学習の一環として歴史探訪講座(奥球磨セミナー)を近隣町村と合同で開催した。		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き無形民俗文化財の継承活動を推進するとともに、歴史探訪講座など住民への学習機会の提供に努める。	
状況を示す写真や資料等		
1 補助の実績 (1) 無形民俗文化財保存継承活動 3団体 279千円(東方組太鼓踊り保存会・浅鹿野棒踊り保存会・球磨神楽保存会) (2) 無形民俗文化財修理等事業 2件 343千円(東方組太鼓踊り保存会・球磨神楽保存会)		
2 記録映像のアクセス数 (1) 町ホームページ伝統芸能ページのアクセス数 H30年度中 1,555件→R1年度中 2,267件 令和2年度からホームページのリニューアルを行ったため、アクセス数のカウントができなくなった。		
3 歴史文化に関する総合学習、特別授業、中学校の伝承活動等の実績 (1) 生涯学習歴史探訪講座 2回(H29・H30・R1・R3・R4・R5・R6) (2) 小学校総合学習(文化財) 2回(H29) 3回(H30) 1回(R1) 1回(R4) 1回(R5) 2回(R6) (4) 中学生への地域伝統芸能の継承活動 15回(H29・H30・R1・R3・R4・R5・R6) (5) 中学生による地域伝統芸能の披露 2回(H29・H30・R1・R3・R4・R5・R6) (6) 奥球磨セミナー 2回(H30・R1・R4・R5・R6)(奥球磨の文化財、建造物、相良33観音めぐりに関するセミナー)		
		
湯前中学校生徒 伝統芸能継承活動 東方組太鼓踊り	湯前中学校生徒 伝統芸能継承活動 浅鹿野棒踊り	湯前中学校生徒 伝統芸能継承活動 球磨神楽
湯前中学校伝統芸能継承活動紹介HP <a href="https://jh.higo.ed.jp/yunomae/album">https://jh.higo.ed.jp/yunomae/album</a>		

評価軸③-6  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
(3)まちなみと景観形成に関する事業 ⑧ 明導寺阿弥陀堂等周辺整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容  
明導寺阿弥陀堂周辺は、八勝寺阿弥陀堂や宝陀寺観音堂といった歴史的建造物が集積しており、観光客等も増加している。近年は、観光バスでの来場者が増加しており、現在未舗装となっている駐車場やトイレ等の周辺施設の整備や、周辺竹林の適切な管理、歴史的建造物を結ぶ参道の整備など総合的な周辺整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 明導寺阿弥陀堂の周辺整備
  - 八勝寺阿弥陀堂の周辺整備
  - 宝陀寺観音堂の周辺整備
- 春と秋の彼岸の時期に合わせて八勝寺に簡易トイレを設置した。  
宝陀寺観音堂入口の老朽化した看板を建て替えた。

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している  
□計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  
明導寺阿弥陀堂等の維持管理については、堂宇等建物や周辺の清掃など地域住民が主体となって取り組みをしている。宝陀寺観音堂の参道施設の老朽化といった課題もあり地域住民の高齢化や担い手減少も踏まえ、今後も地域住民等を交え引き続き検討を進める。

状況を示す写真や資料等



八勝寺阿弥陀堂周辺



八勝寺阿弥陀堂簡易トイレ



馬場稲荷神社周辺



宝陀寺観音堂



宝陀寺観音堂の参道



宝陀寺観音堂の案内看板

評価軸③-7  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況
(3)まちなみと景観形成に関する事業 ⑨ 里宮通り他道路美装化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 町中心部から市房山神宮里宮神社へ向かう、里宮通り、桜町通り等の道路は、観光列車の運行開始等も相まって、町外からの町歩き観光客等が増加しており、歴史的なまちなみを形成していくため道路美装化に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 道路空間を活用した住環境の整備  
 ○ 住民満足度と歴史的建造物へのアクセス向上  
 平成30年度は街なみ環境整備事業計画策定の中で、事業対象路線沿道の建造物・景観・通行量調査等、地域住民等のワークショップ等を経て道路美装化事業構想を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

町並み景観形成事業は規模が大きく、年度スケジュールや蓋然確保の課題が多い。現実味を増すためには、時代の流れに沿うかたちで規模や年度スケジュール等の見直しを適宜行っていく必要がある。



中心市街地概要図



里宮通りイメージパース



桜町通りイメージパース



駅前通りイメージパース

評価軸③-8  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑩ 湯前まんが美術館改修事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間 平成28年度～令和7年度			
支援事業名 町単独事業・平成28年熊本地震復興基金交付金観光拠点整備事業			
計画に記載している内容 湯前まんが美術館は、本町の歴史文化を総合的に発信していく施設であり、文化財の収蔵も行き、美術館としての展示施設の機能も備えている。その機能や設備の拡充等を改修事業により進めていく。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○ 湯前まんが美術館の改修及び周辺整備等 …… 美術館改修工事の実施設計を行い、工事契約を締結した。 ○ 湯前まんが美術館等来場者数 …… 4,717人/年(H29)→9,434人/年(H30:対前年増4,717人)→3,084人/年(R1)→586人/年(R2)コロナ影響による大幅減⇒712人/年(R3)⇒2,477人/年(R4)⇒2,802人/年(R5)⇒ <b>2,802人/年(R6)</b>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		まんが美術館本体の改修に伴い、別棟として図書交流棟を建設し、進行中のレールウイング整備と連携することで、より多くの情報発信の可能性を拡大しつつある。	
状況を示す写真や資料等			



基本計画の周辺整備イメージ図



改修後の常設展示室



改修後の特別展示室

評価軸③-9  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	

(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業  
① 湯前町歴史文化情報発信推進事業

□実施済  
■実施中  
□未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・文化遺産総合活用推進事業(歴史文化基本構想策定支援)

計画に記載している内容  
歴史的風致維持向上計画の公表や湯前町歴史文化基本構想の策定等と併せ、湯前町広報、ホームページ等で歴史まちづくりに関する情報を重点的に掲載していき、住民参加型のソーシャル・ネットワーキング・サービスの活用や、シンポジウムの開催等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 湯前町HPでの計画等公表 …「湯前町歴史的風致維持向上計画」「湯前町歴史文化基本構想」を公表
- ホームページでの歴史文化関連情報の公開等 … 令和6年度は2件
- 湯前町広報 … 令和6年度の関連記事数 19件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画どおり進捗している  
■計画どおり進捗していない

平成29年度に湯前町歴史文化基本構想を策定しているが、住民参加型の事業着手が未定となっており、区長会や観光案内人協会、生涯学習受講者等との合意形成を図り事業着手を行っていきたい。

状況を示す写真や資料等

令和6年度湯前町歴史的風致維持向上関係		「広報湯前」掲載一覧	
発行月	記事タイトル	サブタイトル・主な内容	備考
4	人生の節目に形に残る思い出を	還暦記念植林	林業景観
4	湯前歴史散歩	村会議事録にみる下町橋の架設②	下町橋
6	湯前歴史散歩	城泉寺(浄心寺)保存の歩み①	明導寺阿弥陀堂
7	湯前歴史散歩	城泉寺(浄心寺)保存の歩み②	明導寺阿弥陀堂
8	湯前歴史散歩	城泉寺(浄心寺)保存の歩み③	明導寺阿弥陀堂
9	下町橋開通	大規模補修工事終了	下町橋
9	地域の伝統文化を引き継ぐ	篠笛作り(伝統芸能継承活動)	伝統芸能継承活動
9	湯前歴史散歩	城泉寺(浄心寺)保存の歩み④	明導寺阿弥陀堂
10	地域の伝統文化を体験	和楽器鑑賞会・演奏体験	伝統芸能継承活動
10	伝統文化継承活動の功績が認められる	古典の日文化基金賞受賞	伝統芸能継承活動
10	湯前歴史散歩	城泉寺(浄心寺)保存の歩み⑤	明導寺阿弥陀堂
11	湯前歴史散歩	城泉寺(浄心寺)保存の歩み⑥	明導寺阿弥陀堂
12	特集 先代から続く民俗芸能	湯前中学校文化芸能継承活動20年	伝統芸能継承活動
12	湯前歴史散歩	城泉寺(浄心寺)保存の歩み⑦	明導寺阿弥陀堂
1	湯前歴史散歩	普門寺のはなし①	普門寺
2	湯前歴史散歩	普門寺のはなし②	普門寺
3	記念に残る植林	湯前小学校6年生卒業記念植林	林業景観
3	湯前歴史散歩	普門寺のはなし③	普門寺
3	下町橋が景観賞に選出	第36回熊本景観賞受賞	下町橋
記事数計	19		



「広報湯前」9月号



「広報湯前」12月号

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
(4)歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑫ 駅舎内湯前ギャラリー整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・地方創生拠点整備交付金・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的価値の高い湯前駅舎は、今後とも景観を壊さないように維持していくことが重要となっており、観光列車田園シンフォニーを利用した観光客等に、本町の歴史文化を知っていただくため、駅舎内部の壁を利用して、資料館的な機能を持たせ、明導寺阿弥陀堂や八勝寺阿弥陀堂、伝統芸能など本町を代表する歴史文化遺産を展示する空間整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 湯前駅舎(国登録有形文化財)の保全と活用 …… 庁内検討段階  
令和3年11月に湯前—肥後西村駅間での運転が再開し、湯前駅も高校生の通学等に利用されている。令和6年度には、レールウイングの改修工事が着工した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年7月豪雨によりくま川鉄道に大きな被害があり、現在鉄道は一部区間の開通となっている。当面は鉄道運航再開に向けた事業が行われるが、今後も湯前駅舎の所有・管理団体であるくま川鉄道(株)との協議を行い歴史的資源の情報発信施設としての機能向上を図る。

状況を示す写真や資料等



くま川鉄道 湯前駅本屋



くま川鉄道湯前駅本屋(駅舎内部)



湯前線の歴史(湯前駅舎内)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
(4)歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑬ 歴史文化利活用着地型観光事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和8年度

支援事業名 町単独事業・熊本県単独補助事業

計画に記載している内容 明導寺阿弥陀堂や八勝寺阿弥陀堂等の歴史文化遺産を観光資源として活用していくために、観光客の受け入れ先である本地域が、地域ならではの周遊プログラム等を企画し、参加者が現地集合、現地解散する観光形態の推進を図るとともに、観光案内人をガイドとしてサービスを提供していく取り組みを構築する。本事業は、湯前町観光物産協会等を中心として関係事業との連携を図りながら推進を行う。

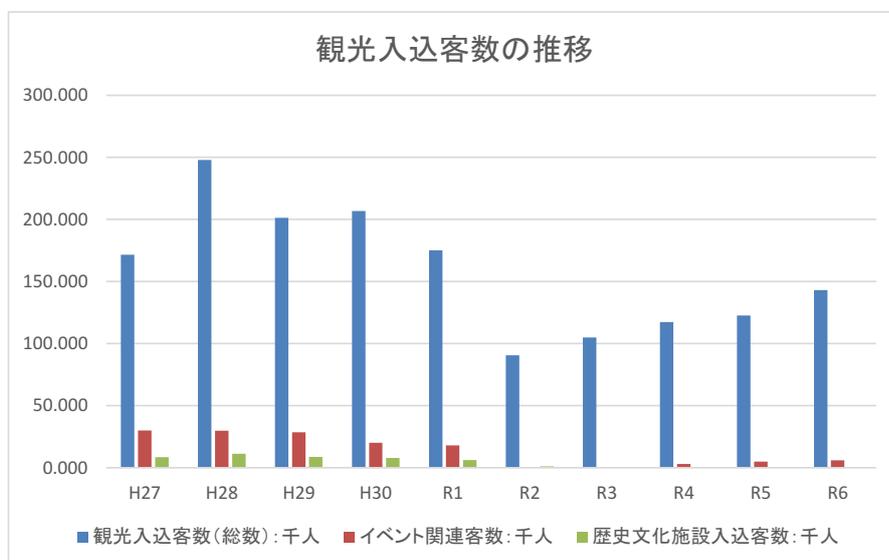
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 観光入込客数(うち歴史文化関係施設の来場者数)  
175,194人(6,180人)(R1)→ 90,840人(1043人)(R2)→ 104860人(R3)→117,275人(R4)→122,589人(R5)→  
143,169人(R6)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	観光客入込数はゆるやかに回復しつつある。今後も観光振興と情報発信に力を入れ、早期の回復を図る。

状況を示す写真や資料等

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
観光入込客数(総数):千人	171.567	247.926	201.405	206.880	175.194	90.480	104.860	117.275	122.589	143.169
イベント関連客数:千人	30.007	29.697	28.628	20.135	18.026	0.000	未集計	3.000	5.000	6.000
歴史文化施設入込客数:千人	8.489	11.198	8.744	7.792	6.180	1.043	未集計	未集計	未集計	未集計



評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	

(4) 歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑭ 案内看板統一化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--	---

事業期間 平成29年度～令和8年度  
 支援事業名 町単独事業・熊本県単独補助事業

計画に記載している内容  
 歴史的建造物等を案内する看板について、これまで各種事業等により整備を行ってきたが、経年劣化が進み、表記方法や意匠の統一感がないため、多言語表示化も含め、人吉球磨日本遺産活用協議会との連携を図りながら、統一感のある案内看板等の整備を進める。

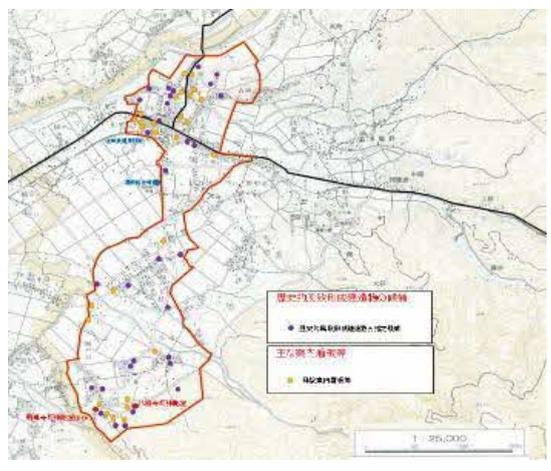
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成29年度時点の案内板箇所数 ……29箇所
- 令和6年度設置 ……2箇所(既存看板の更新)
- 案内看板統一化事業で設置した箇所数 …… 2箇所【内評価対象年度の箇所数0箇所】
- 多言語表示の案内板箇所数 …… 3箇所

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない  
 平成30年度は街なみ環境整備事業計画の策定過程で、重点区域内の主な案内板等の基礎調査を実施した。令和6年度は観光案内サイン整備業務を委託で行い、令和7年度に繰り越して実施することとなった。

状況を示す写真や資料等



重点区域内の国が指定する重要文化財及び歴史的風致形成建造物指定の候補と既設案内板等の位置図



令和6年度更新した文化財説明

評価軸③-13  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況
(4)歴史的資源を活かした観光振興と情報発信に関する事業 ⑮ 湯前町観光案内人育成事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和2年度

支援事業名 町単独事業・熊本県単独補助事業

計画に記載している内容 観光案内人養成講座を開催し、観光客への案内が容易に出来る人材育成に取り組むことと併せ組織化を図り、観光案内人の育成を推進していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 観光案内人の組織 … 1団体 15名(個人会員11名+団体会員4団体)
- 観光案内人の利用 … 3件(R6) 定時ツアー等の開催 2件
- 定例会等の実施 … 14回(R6) 定例会10回のほか、研修やAED講習を実施した。
- 情報発信 … ・郷あるきツアーのチラシ作成・配布、オリジナルポストカードの販売

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

観光案内人の養成、質の高い案内が可能となるように個人のスキルアップが必要になる。また、持続的な活動のための組織体制の強化が必要になる。

状況を示す写真や資料等



明導寺本堂



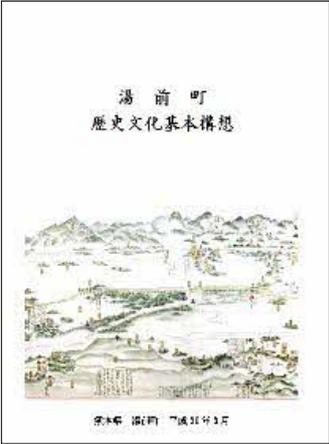
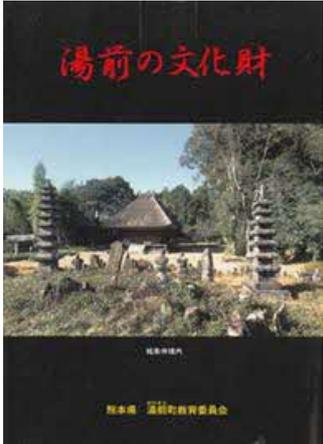
下町橋



八勝寺



下里御大師堂

評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
(5)歴史的風致の維持向上に関する調査・計画策定事業 ⑯ 湯前町歴史文化基本構想等策定事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成29年度～令和2年度			
支援事業名 町単独事業・文化遺産総合活用推進事業(歴史文化基本構想策定支援)			
計画に記載している内容	『湯前町の文化財』発行から10年以上が経過し、文化財全般にわたり、調査や台帳整備等が必要となっている。歴史文化基本構想の策定を中心として、歴史文化の振興とともに地域活性化を推進する。また、これらの情報はホームページ等での公開がこれまで行われていなかったため、情報発信を併せて推進していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○ 湯前町歴史文化基本構想の策定 …… 平成29年度策定済			
J		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		平成29年度に湯前町歴史文化基本構想を策定、平成30年度は『湯前町の文化財』を300冊増補し文化財に対する普及資料として活用したが、湯前町HPでの公表は当該冊子を有料販売してきた経緯があり実施に至っていない。今後は、HP公表に向けて教育委員会、文化財保護委員会で検討を進める。	
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>『湯前町歴史文化基本構想』 平成29年度策定</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>『湯前の文化財』 平成30年度改訂</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>『下里御大師堂修理工事報告書』 令和4年度発行</p> </div> </div>			

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和6年度																																																																																																																	
項目		現在の状況																																																																																																																		
文化財保護委員会の開催状況等文化財保護行政の取組状況		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																																																																																																																		
計画に記載している内容	指定又は未指定に関わらず、本町に残された文化財を確実に後世に伝えていくためには、文化財の保存だけでなく周辺環境や組織を含めた一体的な保存・管理・活用の運営を図る。																																																																																																																			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																																																																																																																				
○ 文化財保護委員会の開催 … 2回/年 ○ 文化財管理人の設置 … 3箇所・3名 ○ 文化財施設の管理 … 3箇所(委託) ○ 文化財の指定状況 … 令和6年度中の新規指定・解除はなし ○ 文化財の防災・防犯 … 文化財防火デー(防災訓練)の実施																																																																																																																				
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																																																																																																				
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財保護委員会、文化財管理人、文化財振興補助金などの制度によりながら、地域住民と連携して文化財保護を進めていく。																																																																																																																			
状況を示す写真や資料等																																																																																																																				
1 湯前町文化財保護委員会の開催状況(令和6年度) 第1回文化財保護委員会(R6.8.7) ・令和6年度文化財振興補助金・委託料について ・下里御大師堂周辺整備事業について ・明導寺阿弥陀堂屋根修理・九重石塔耐震対策事業について ・下村御大師堂・弘法大師椅像の維持保存策に関する要望について文化財振興補助金の交付状況 第2回文化財保護委員会(R7.3.26) ○文化財/パトロール ・令和6年度事業報告 ・令和7年度事業計画について ・明導寺阿弥陀堂屋根修理・九重石塔耐震事業について 2 文化財施設の管理委託状況 (1)明導寺阿弥陀堂 (2)下里御大師堂 (3)宝院寺観音堂 (4)八勝寺阿弥陀堂 3 文化財調査 ・明導寺阿弥陀堂・八勝寺阿弥陀堂(東京大学大学院准教授 海野聡氏ほか) 4 文化財防火デー(防災訓練)等の実施 ・1月、城泉寺阿弥陀堂にて実施 5 歴史文化に関する総合学習等の開催実績 (1)生涯学習歴史探訪講座 2回 (2)小学校総合学習(文化財) 2回 (3)中学生による地域伝統芸能活動の伝承活動																																																																																																																				
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>国指定</th> <th>県指定</th> <th>町指定</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9">有形文化財</td> <td>建造物</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>絵画</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>書跡</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>典籍</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>古文書</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>彫刻</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>工芸</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>考古</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>歴史資料</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">無形文化財</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">民俗文化財</td> <td>有形民俗文化財</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>無形民俗文化財</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">記念物</td> <td>史跡</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>天然記念物</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">文化的景観</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">伝統的建造物群</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">文化財の保存技術</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>34</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>国登録有形文化財</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3</td> </tr> </table>				区分		国指定	県指定	町指定	計	有形文化財	建造物	4	1	8	13	絵画	0	0	1	1	書跡	0	0	0	0	典籍	0	0	0	0	古文書	0	0	0	0	彫刻	1	3	8	12	工芸	0	1	5	6	考古	0	0	0	0	歴史資料	0	0	1	1	無形文化財		0	0	0	0	民俗文化財	有形民俗文化財	0	0	2	2	無形民俗文化財	1	0	3	4	記念物	史跡	0	0	3	3	名称	0	0	0	0	天然記念物	0	0	3	3	文化的景観		0	0	0	0	伝統的建造物群		0	0	0	0	文化財の保存技術		0	0	0	0	合 計		6	5	34	45	国登録有形文化財	3	合 計	3
区分		国指定	県指定	町指定	計																																																																																																															
有形文化財	建造物	4	1	8	13																																																																																																															
	絵画	0	0	1	1																																																																																																															
	書跡	0	0	0	0																																																																																																															
	典籍	0	0	0	0																																																																																																															
	古文書	0	0	0	0																																																																																																															
	彫刻	1	3	8	12																																																																																																															
	工芸	0	1	5	6																																																																																																															
	考古	0	0	0	0																																																																																																															
	歴史資料	0	0	1	1																																																																																																															
無形文化財		0	0	0	0																																																																																																															
民俗文化財	有形民俗文化財	0	0	2	2																																																																																																															
	無形民俗文化財	1	0	3	4																																																																																																															
記念物	史跡	0	0	3	3																																																																																																															
	名称	0	0	0	0																																																																																																															
	天然記念物	0	0	3	3																																																																																																															
文化的景観		0	0	0	0																																																																																																															
伝統的建造物群		0	0	0	0																																																																																																															
文化財の保存技術		0	0	0	0																																																																																																															
合 計		6	5	34	45																																																																																																															
国登録有形文化財	3																																																																																																																			
合 計	3																																																																																																																			
湯前町指定文化財一覧																																																																																																																				

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
下記のとおり			人吉新聞
			熊本日日新聞
			その他雑誌

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○ 歴史的風致に関連する報道 …… 人吉新聞及び熊本日日新聞等に掲載された記事数 32件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

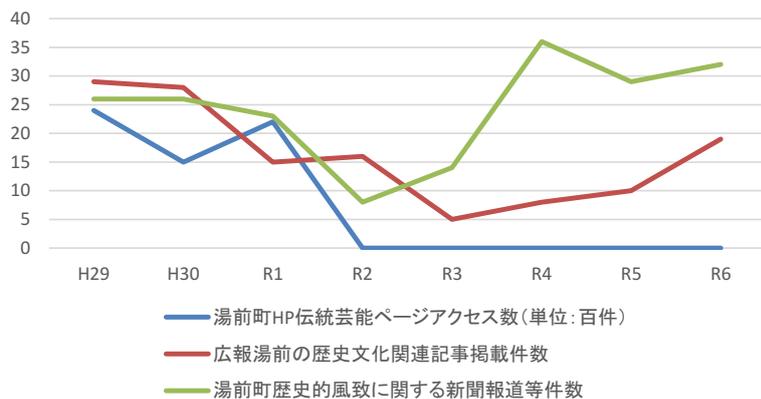
今後も積極的に情報発信を行っていく。

状況を示す写真や資料等

令和6年度 湯前町歴史的風致維持向上計画関係 新聞等報道一覧

掲載・発行日	掲載紙	題目	サブタイトル・主な内容	関連する歴史的風致			備考
				里宮神社の祭礼行事等	相良三十三観音めぐり	幸野溝と球磨焼酎	
4月1日	人吉新聞	湯前線開業100周年	記念フォーラム 歴史振り返り今後語る				湯前線
4月15日	人吉新聞	伝統行事の花祭り楽しむ	湯前町上村区				地域伝統行事
5月15日	人吉新聞	宗派超え僧侶が読経	鶴地協主催三日月花祭	○		○	明通寺阿弥陀堂
7月1日	人吉新聞	湯前駅舎内に「七夕」飾り	商工会女性部でてるてる坊主も設置				湯前駅舎
7月5日	人吉新聞	TWSC「常圧豊永蔵35度」最高金賞	豊永酒造 ベストカテゴリ一も			○	球磨焼酎
7月13日	人吉新聞	湯前まんが美術館を改修	くま鉄全線開通見据え				湯前まんが美術館
7月17日	熊本日日新聞	焼酎「常圧豊永蔵」が最高賞	湯前町の酒造会社			○	球磨焼酎
7月24日	熊本日日新聞	しの笛作り 伝統芸能継承	湯前中「浅鹿野棹踊り」で使用	○			浅鹿野棹踊り
8月1日	熊本日日新聞	下町橋補修工完了	歴史ある石橋「大切に」				下町橋
8月1日	人吉新聞	「下町橋」創建当時の姿へ復元	補修完了し開通式				下町橋
8月5日	人吉新聞	「篠笛」作りに挑戦	湯前中1年生「浅鹿野棹踊り」で使用	○			浅鹿野棹踊り
8月6日	人吉新聞	下町橋補修完了し記念焼酎	湯前町林酒造場 那須氏の作品ラベルに				下町橋、球磨焼酎
8月6日	人吉新聞	理事長に富田氏再就任	幸野溝土地改良区 副理事長は岩野氏			○	幸野溝
8月12日	人吉新聞	湯前城跡に野戦陣地	福田さんが発掘整備 一帯を野外博物館へ				湯前城跡
8月28日	西日本新聞	「下町橋」未永く大切に	湯前町 118年前の石橋、補修完了				下町橋
9月3日	人吉新聞	郷土と歩む(有)林酒造場	「極楽」シリーズが人気			○	球磨焼酎
9月17日	読売新聞	湯前中 伝統芸能継承20年	古典の日文化基金賞・未来賞	○			伝統芸能継承活動
9月21日	人吉新聞	篠笛と三味線を演奏	湯前中1年生 伝統芸能継承へ体験学習	○		○	伝統芸能継承活動
9月25日	人吉新聞	地図頼りに名所巡り	湯前町ロケイング楽しむ				下町橋、八勝寺
10月1日	人吉新聞	湯前中「未来賞」輝く	伝統芸能の継承活動評価	○			伝統芸能継承活動
10月8日	熊本日日新聞	仏像搬出 九州国立博物館へ	湯前町・城泉寺の国重文	○		○	明通寺阿弥陀堂
10月19日	人吉新聞	玉手箱展へ仏像搬出 湯前町城泉寺	22日九州国立博物館で開幕	○		○	明通寺阿弥陀堂
10月29日	熊本日日新聞	走れ！くま川鉄道 湯前線開通100年 上	生徒の足復旧急ぐ				湯前線
10月30日	熊本日日新聞	走れ！くま川鉄道 湯前線開通100年 中	地元木材運び周辺に製材所				湯前線
10月31日	熊本日日新聞	走れ！くま川鉄道 湯前線開通100年 下	「上下分離方式」導入				湯前線
11月15日	熊本日日新聞	湯前の伝統芸能受け継ぎ20年	地元中学 文化財指定の3演目	○			伝統芸能継承活動
11月30日	人吉新聞	神楽・棹踊り・太鼓踊り披露	湯前中生徒 里宮神社大祭で奉納	○		○	伝統芸能継承活動
12月2日	人吉新聞	樹齢約300年大モミジが紅葉	湯前町里宮神社 夜間はライトアップ	○		○	里宮神社
1月6日	人吉新聞	二十歳の節目応援	伝統の記念植林で祝う 湯前町				植林
1月9日	人吉新聞	湯前城跡「二重の堀切」姿現す	保存会 遺構「見える化」進む				湯前城跡
1月31日	人吉新聞	城泉寺 模擬仏像搬出し放水	住民参加し防火演習	○		○	明通寺阿弥陀堂
10月20日	『どらぎゃん』11月号	よか湯・よか蔵めぐり	湯前町・林酒造場	○		○	球磨焼酎、里宮神社
32				9	4	6	7

歴史まちづくりに関する情報発信件数



※令和2年度からホームページのリニューアルを行ったため、HPアクセス数のカウントができなくなった。

評価軸⑥-1  
 その他(効果等)

評価対象年度 令和6年度

項目

その他(効果等)

計画に記載している内容  
 本計画は、本町の歴史・文化的資源の継承とこれらを活用したまちづくりの基本方針として、法律第4条に規定する「歴史的風致維持向上基本方針」に基づき策定するものであり、文化財保護行政とまちづくり行政が緊密に連携し、文化財の保存と活用、都市、景観政策による各種の措置を講ずることにより、行政、地域住民、地域団体、企業などが一体となって、まちづくりに取り組むことを目的とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○地域住民等の意識 … アンケート調査(文化財行政・文化財の保存活用に対する満足度)  
 満足・どちらかといえば満足と回答した割合 25%(R2)→42.9%(R5)

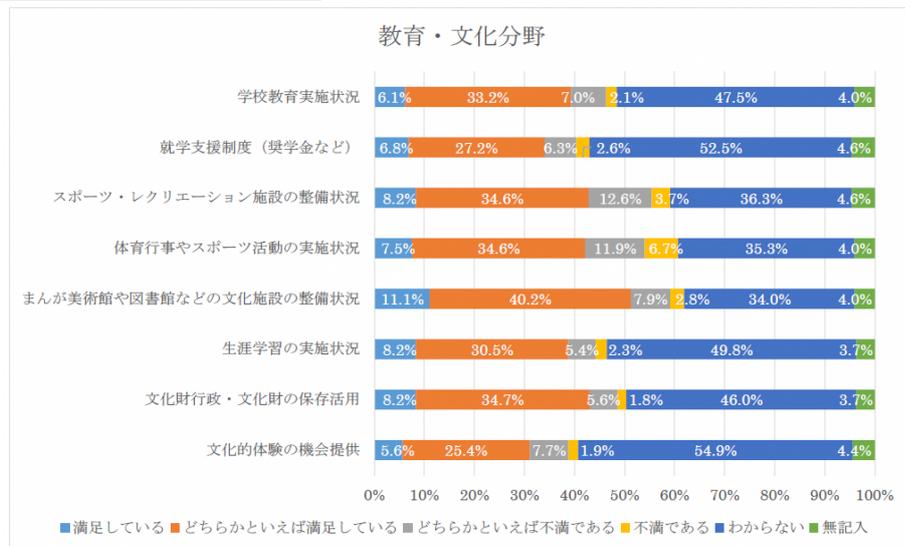
○観光入込客数等 … 総入込客数 90,840人(R2)→164,890人(R3)→117,275人(R4)→122,589人(R5)→143,169人(R6)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

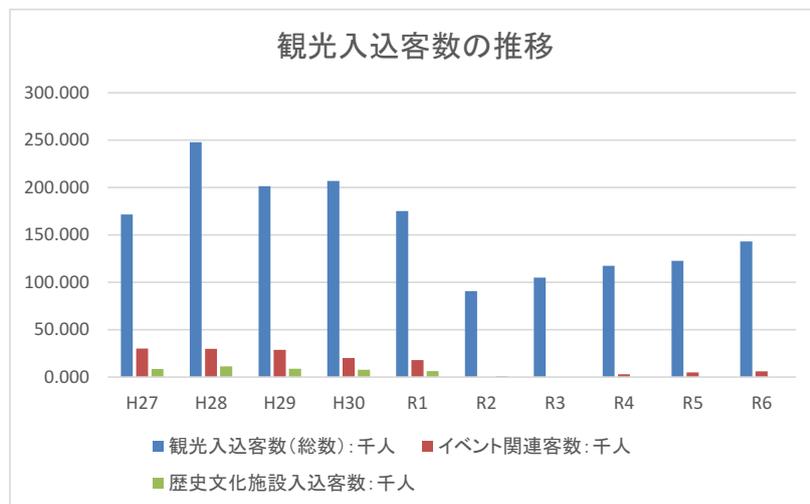
□計画の進捗に影響あり  
 ■計画の進捗に影響なし  
 歴史的風致維持向上計画の事業の他、地域住民等による古民家の活用や、歴史的風致としていない祭礼行事、歴史ある建造物の恒常的な維持管理や修理などの取り組みがなされている。

状況を示す写真や資料等

令和5年度実施「湯前町まちづくりアンケート



湯前町観光入込客数の推移



評価対象年度 令和6年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 湯前町歴史的風致維持向上協議会

会議等の開催日時: 令和7年6月16日(月)～7月7日(月) 書面審議

(コメントの概要)

1 有識者コメント

○(伊東委員)御大師堂の周辺整備では、もとは吉祥院があったわけなので、「球磨絵図」等も用いて、吉祥院と御大師堂の関係等を「史跡」扱いで説明いただけるとありがたい。

○(伊東委員)「道路の美装化」の「美装」の具体的内容が問題かと思う。評価シートには記されていないようなので気になる。

○(伊東委員)登録有形文化財として緩やかに守っていく道も検討されたらどうか。

○(桂委員)町並み景観形成事業は規模が大きく、年度スケジュールや蓋然確保の課題が多い。現実味を増すためには、時代の流れに沿うかたちで規模や年度スケジュール等の見直しを適宜行っていく必要がある。

○(桂委員)まんが美術館本体の改修に伴い、別棟として図書交流棟を建設し、進行中のレールウイング整備と連携することで、より多くの情報発信の可能性を拡大しつつある。

○(溝下委員)下町橋に新しい説明板 と駐車場をお願いしたい。

○(溝下委員)国登録文化財として湯前駅舎の説明板 が欲しい。

○(溝下委員)毎年、町広報等で観光案内人の募集をすべきではないか。

○(溝下委員)明導寺阿弥陀堂は保存活用計画を策定していくべきではないか。

○(富田委員)農業用水路「幸野溝」は完成から320年を迎えるが、その歴史的価値や役割について十分に理解いただけていない。湯前町のホームページや観光パンフレット掲載など積極的なPRを進めていくことで、町内外からの見学者の増加や地域の活性化につながると考える。

○(工藤委員)御大師堂の公園等が整備されて大変よかった。今後の維持管理もお願いしたい。

○(工藤委員)里宮通り、桜町通りはこのままにしておけば、景観等をそこなう恐れがあり、早急に対処していただきたい。

○(工藤委員)マスメディアへの発信が低い。湯前町の観光の情報発信が弱い。

2 今後の対応等

・個別の事業についても多くの意見をいただいたので、第2期計画策定を見据えながら、今後、協議会の場で議論を深め、事業を進めていきたい。